

# 黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成27年5月発行

第131号

発行所

和歌山県看護協会

〒642-0017

海南市南赤坂1-7

TEL:073-483-1005

FAX:073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyoikai.or.jp>

発行人

古川 紀子



写真撮影：広報委員

## CONTENTS

- 通常総会開催に向けて ..... 2
- 平成27年度 通常総会プログラム
  - 理事会報告 ..... 3
  - 平成27年度重点事業(案) ..... 5
  - 平成27年度収支予算 ..... 6
  - 正味財産計算予算書内訳表 ..... 7
  - 職能委員会報告 ..... 8
  - 常任委員会報告 ..... 10
- 特別委員会報告 ..... 13
- その他委員会報告 ..... 14
- 地区支部報告 ..... 15
- 平成27年度和歌山県看護協会役員・  
推薦委員選挙候補者一覧 ..... 19
- 平成28年度 代議員推薦者名簿 ..... 20
- 平成28年度 予備代議員推薦者名簿 ..... 20

## 和歌山県看護協会 会員数

平成27年5月8日現在

会員総数	5,109名
名誉会員	1名
保健師	120名
助産師	184名
看護師	4,600名
准看護師	204名

# 平成 27 年度和歌山県看護協会通常総会開催に向けて



公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 古川 紀子

新年度となり、各職場では新人を迎えられ、ご多忙中にも活気ある日々をお過ごしのことと存じます。

また、平素より看護協会事業に対しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

和歌山県看護協会は公益社団法人に移行して4年目を迎え、「県民の健康な生活の実現」を目指して取り組んでいるところです。

平成18年度から検討を重ねて参りました新看護研修センターが、10年の歳月を経て開設する運びとなり、4月1日から業務を開始いたしました。

新看護研修センターでは、充実した質の高い研修、交流、災害支援、地域交流等の事業を実施し、公益社団法人として期待される役割を果たして参ります。

さて、当協会の平成26年度事業につきましても、会員の皆様をはじめ、役員、各地区支部、各委員会、行政、関係団体等のご支援・ご協力を頂き、無事終了いたしました。

平成27年度も、「看護の質向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を使命として、6つの重点事業をあげて活動を展開してまいります。

「看護実践能力及び専門性の強化」については、例年の事業に加えて、新たに「救急分野」の認定看護師教育課程を開講いたします。

また、ファーストレベル研修、新人多施設合同研修、高機能シミュレーション研修、新人実地指導者研修、臨床実習指導者講習会、訪問看護推進事業、専任教員継続研修等、看護職が十分に看護力を発揮できるように努めます。また

訪問看護推進事業は協会の事業として企画し、看護の質向上に努めて参ります。

「看護職が働き続けられる環境づくり」については、看護職のWLBワークショップ事業を今年も継続的に取り組み、労働環境改善に繋げて参ります。今年10月から医療機関等を退職する看護職員のナースセンターへの届け出制度が義務化されるおことに伴い、潜在看護職員復職支援研修、サテライト開設等、ナースセンターを看護職確保・定着の総合拠点として、行政や労働局、ハローワークと連携しながら機能強化を図って参ります。

在宅医療推進に関しては、看護師職能委員会Ⅱが8地区支部での「看護の出前事業」等在宅看護に関わる看護職員の資質向上、人材確保に向けて活動を展開します。

各職能の実践能力向上と体制整備に向けては、保健師活動指針の普及、助産師新人研修ガイド及び助産師クリニカルラダーの普及、夜勤交代制勤務ガイドラインの普及等各職能が力を発揮できる活動を進めます。

広報に関しては、看護職や県民の方々へ情報をタイムリーに発信できるよう、ホームページを昨年12月に全面リニューアルいたしましたので、ぜひご覧のうえ業務の参考にさせていただけたらと考えております。

平成27年度も、役員、各地区支部、各委員会をはじめ、各関係機関、行政、会員の皆様と共に安全で良質な看護の提供と、看護職がいきいきと働き続けられる職場づくりを目指して、積極的に活動して参りますので、引き続き協会運営にご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

## 平成 27 年度 和歌山県看護協会

● 日程：平成27年6月13日（土）

12:20 開 場  
12:50 オリエンテーション  
13:00 開 会  
物故会員への黙祷  
会長挨拶  
来賓祝辞  
祝電披露  
和歌山県看護協会会長表彰  
(休 憩)  
13:50 議長団選出  
議事録署名人選出  
平成26年度総会議事録朗読  
14:00 報告事項  
日本看護協会代議員報告  
理事会報告  
新看護研修センター建設について

## 通常総会プログラム

● 場 所：和歌山県立医科大学 講堂

職能委員会報告  
常任委員会・特別委員会報告  
地区支部報告  
平成26年度事業報告  
平成27年度重点事業並びに事業計画  
平成27年度収支予算  
議決事項  
(第一号議案～第三号議案)  
新役員紹介  
旧役員への謝辞  
旧役員代表者挨拶  
綱領宣言  
看護協会歌唱  
16:30 閉 会  
\*進行上の都合により、時間が変更となる場合があります。

- 第一号議案** 平成 27 年度役員及び推薦委員並びに  
平成 28 年度公益社団法人日本看護協会代議員及び  
予備代議員の選出について
- 第二号議案** 平成 26 年度決算報告並びに監査報告 (案)
- 第三号議案** 定款の変更

## 報 告 事 項

# 理 事 会 報 告

### I 理事会等開催状況

#### 1. 理事会

回	開催日	時間	出席者	
			理事	監事
1	平成 26 年 4 月 24 日 (木)	13:00～14:45	16	3
2	平成 26 年 6 月 4 日 (水)	13:00～14:55	17	3
3	平成 26 年 6 月 23 日 (月)	13:00～15:35	18	2
4	平成 26 年 7 月 30 日 (水)	13:00～15:55	18	2
5	平成 26 年 10 月 3 日 (金)	13:00～16:10	18	1
6	平成 26 年 12 月 10 日 (水)	13:00～16:40	17	3
7	平成 27 年 2 月 3 日 (火)	13:00～15:15	17	3
8	平成 27 年 3 月 11 日 (水)	13:00～16:05	17	2

#### 【報告事項】

1. 和歌山県看護協会への提案・要望事項について
2. 代議員報告等について
3. 事業進捗状況 (担当理事)
4. 会員数について
5. 和歌山県行政及び関連団体会議参加報告  
1) 病院協会学術集会について

#### 2. 理事・各委員長・地区支部長合同開催状況

回	開催日	時間	出席者		
			理事	監事	委員長
1	平成 26 年 4 月 24 日 (木)	15:00～16:20	17	2	9
2	平成 26 年 6 月 23 日 (月)	15:00～15:35	18	2	11

#### 第 2 回理事会 平成 26 年 6 月 4 日 (水)

#### 【協議事項】

1. 平成 25 年度通常総会に向けての最終確認(総会要綱参照)
  - 1) 通常総会プログラム
  - 2) 議決事項  
第一号議案 平成 26 年度役員及び推薦委員並びに平成 27 年度 (公社) 日本看護協会  
代議員及び予備代議員の選出(案)について  
第二号議案 平成 25 年度決算報告並びに監査報告(案)
2. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者 (案) の推薦について
3. ハラスメント防止等規定 (案) について
4. 災害支援ナース登録者の登録証配布 (案) 等について
5. 「第 8 回日本介護支援専門員協会全国大会 in 和歌山」への協賛 (案) について

以上承認

#### 3. 代議員研修会開催状況

回	開催日	出席者	
		代議員	
1	平成 26 年 5 月 14 日 (水)	予備代議員	6

### II 理事会開催

#### 第 1 回理事会 平成 26 年 4 月 24 日 (木)

#### 【協議事項】

1. 平成 25 年度事業実施報告 (案)
2. 平成 26 年度日本看護協会代議員及び予備代議員選出(案)について
3. 平成 26 年度和歌山県看護協会役員・委員等の選挙候補者(案)について
4. 平成 26 年度和歌山県看護協会会長表彰者(案)について
5. 各職能委員・常任委員会及び特別委員会等の委員(案)について
6. 通常総会に関すること  
1) 通常総会プログラム(案)について
7. 新看護研修センター建設への取り組み(案)について
8. その他

以上承認

#### 【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会 WLB 推進会議
3. 施設会員代表者会研修会について
4. 准看護師制度について
5. 平成 26 年度医療労務管理相談コーナー事業について  
(和歌山県社会保険労務士会)
6. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰者の推薦について
7. 会員数について
8. その他  
1) パソコン X-P サポート期間終了に伴いデスクトップ  
とノートパソコン更新

**第3回理事会** 平成26年6月23日(月)

**【確認事項】**

- 平成26年度総会議案の決議事項確認及び事業推進について
  - 議決事項
    - 第一号議案 平成26年度役員及び推薦委員の選出について  
平成27年度公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出
    - 第二号議案 平成25年度決算報告並びに監査報告
  - 平成26年度重点事業及び事業計画及び予算計画について

**【協議事項】**

- 代表理事選定について
  - 理事の職務権限規程の改正について
  - 新看護研修センターについて
  - 円滑な事業運営(理事会等の年間計画)について
- 以上承認

- 各員会について
  - 各委員会委員について
  - 理事の委員会等の担当等について
- 理事等のメールアドレスについて
- 新たな財政支援制度(基金)にかかる事業
- 会員数について
- その他
  - 新看護研修センターへの寄付

**第4回理事会** 平成26年7月30日(水)

**【確認事項】**

- 公益社団法人和歌山県看護協会定款について

**【協議事項】**

- 新看護研修センターについて
  - 和歌山県ナース章推薦について
- 以上承認

**【報告事項】**

- 日本看護協会理事会報告
- その他日本看護協会主催会議報告
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他

**第5回理事会** 平成26年10月3日(金)

**【報告事項】**

- 日本看護協会理事会報告
- 職能委員長会議報告
- 都道府県事務担当者会議報告
- 担当理事報告
- 新看護研修センターについて
- ナース章結果報告
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他

**第6回理事会** 平成26年12月10日(水)

**【協議事項】**

- 平成28年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について(案)
  - 公益社団法人和歌山県看護協会 特定資産取扱規程について(案)
  - 平成26年度収支補正予算について(案)
  - 第48回(平成29年度)日本看護学会学術集会について
- 以上承認

**【報告事項】**

- 人事について
- 公益社団法人監査報告について
- 認定看護師教育課程開校について
- 日本看護協会理事会、近畿地区法人会報告
- 地区別職能委員長会議報告
- 日本看護協会事業担当者報告
- 和歌山県看護協会事業に対する提案要望事業について
- 日本看護協会名誉会員及び、日本看護協会長表彰推薦について
- 新看護研修センターについて
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他

**第7回理事会** 平成27年2月3日(火)

**【協議事項】**

- 平成27年度重点事業概要(案)について
  - 平成27年度事業計画概要(案)について
  - 平成27年度教育計画概要(案)について
  - 和歌山県看護協会事業に対する提案要望について
  - 在宅看護推進委員会・新看護研修センター建設推進委員会の廃止について
  - 和歌山県看護協会史Ⅲの編集について(継続審議)
- 以上承認(6以外)

**【報告事項】**

- 新看護研修センターについて
- 救急認定看護師教育課程開校について
- 日本看護協会・近畿ブロック事業担当者報告
- 第2回施設会員代表者会議について
- 平成26年度 和歌山県看護研究学会について
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他

**第8回理事会** 平成27年3月11日(水)

**【協議事項】**

- 平成27年度収支予算書(案)及び資金調達、設備投資の見込みについて
  - 公益社団法人和歌山県看護協会定款改正(案)について
  - 公益社団法人和歌山県看護協会選挙規定改正(案)について
  - 平成27年度各委員諮問事項(案)について
  - 和歌山県看護協会史Ⅲの編集について(未承認)
- 以上承認(6以外)

**【報告事項】**

- 新看護研修センターについて
- 日本看護協会理事会・三職能委員長会等の報告について
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他  
・「近畿地区看護協会の連携による「災害支援ナース派遣と受け入れに関する実態調査」結果について

**【その他】**

- 和歌山県看護協会長表彰候補者の推薦について
- 救急分野の認定看護師教育課程について

## 平成 27 年度重点事業（案）

我が国が少子・超高齢社会を迎え、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向けて、医療・介護サービスの提供体制の改革が急務と言われており、看護職に寄せられる期待は拡大する一方で。

本会は、平成 24 年度より公益社団法人となり今年で 4 年目を迎えます。定款 4 条には、①看護教育及び学会等学術振興、②看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進、③看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等、④地域ケアサービスの推進、⑤日本看護協会との協力及び連携、⑥その他本会の目的達成の 6 事業を定めています。

本協会の理念である「県民の健康な生活の実現」を目指して①看護の質の向上、②看護職がいそいそと働き続けられる環境づくり、③看護領域の開発・展開を使命に掲げています。

今年度も、公益社団法人として、県民の期待に応えられる看護の実現をめざして、使命・活動理念を軸として、次の 6 項目を重点事業として掲げ、活動を展開して参ります。

1. 看護実践能力及び専門性の強化
2. 働き続けられる環境づくりと確保定着の推進
3. 県民の健康な生活の実現の推進
4. 療養を支える訪問看護や介護領域における看護機能の強化
5. 保健師活動の体制整備と機能強化
6. 助産実践能力強化とその体制整備

### 1. 看護実践能力及び専門性の強化

看護職は、自らの責任において、生涯にわたり自己の能力開発に努め、看護の質の向上を図ることが責務です。看護専門職能団体として生涯教育を支援し、看護の質の向上を図ることは、本協会事業の柱でもあります。今年度も、看護職一人ひとりが自己研鑽して看護の力を発揮できるよう、教育計画に基づいて新人看護職員研修をはじめ、看護職のキャリア開発支援を推進し、看護実践能力の強化に努めます。今年度は、救急看護認定看護師教育課程を開校します。円滑に推進できるよう尽力いたします。特定行為に係る看護師の研修制度については、日本看護協会と連携をおこない、情報提供を密におこなって参ります。新看護研修センターの開設に伴い、看護研修センターの役割を果たして参ります。

### 2. 働き続けられる環境づくりと確保定着の推進

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向け、看護を取り巻く環境も「治す医療」から「生活を支える医療」へ、「施設」から「在宅」へと保健・医療・福祉制度は大きな転換期にあり、人材確保は喫緊の課題です。円滑な就業と定着促進が重要であり、ナースセンターは要となる事業です。「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正により、2015 年 10 月より、退職した看護職員（潜在看護師含む）のナースセンターへの届け出が開始されます。

円滑に届出システムが運用できるように努めます。ナースセンターはナースバンク事業、潜在看護職復職支援事業、WLB 推進ワークショップ事業を推進し、其々成果を得ています。

昨年に引き続き県内 2 か所で潜在看護職復職支援事業を開催いたします。また、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、安心して働き続けられる環境づくりの推進、及び夜勤交代制勤務ガイドラインの普及にも努めます。

ナースセンターを看護職の確保・定着の総合拠点として効果的な活動を推進すると共に、ナースセンターのサテライトを紀北地区、和歌山地区、紀南地区に設置し、看護職員の確保・定着に努めます。

看護師職能委員会 I、社会経済福祉委員会、ナースセンター事業推進委員会との役割を明確にしながら体制強化して参ります。

看護職の「雇用の質」向上に向けては、職場づくり、人づくり、ネットワークづくりに向けて、行政、労働局、ハローワーク等、各関係団体と連携して、ナースセンター事業を強化し、働き続けられる環境づくりと確保・定着の推進に努めます。

### 3. 県民の健康な生活の実現の推進

新看護研修センターを拠点に「県民の健康な生活」の実現に向けて、看護週間や老人月間、また地域や団体での催し等において、「まちの保健室」の開催、また、自殺対策予防事業等、県民の健康増進、情報の発信等に努めております。今年度も、行政や関連団体と連携しながら「まちの保健室」や「看護の心普及」等の事業を推進します。同時に、新看護研修センターを拠点に看護協会への理解を深めて頂くために、様々な機会を捉えて情報発信に努め、県民の健康な生活の実現を推進して参ります。

### 4. 療養を支える訪問看護や介護領域における看護機能の強化

少子高齢多死社会の到来に伴い、要介護高齢者や認知症の増加等により、介護・福祉施設や在宅療養の場における看護職への期待は拡大の一途を辿っています。和歌山県は高齢化も全国を上回る速さで進行し、高齢化率 28.63%（26 年 1 月 1 日）、全国第 5 位で超高齢社会を迎えます。

本看護協会では、看護師職能委員会 II（介護福祉関係施設・在宅領域）が、在宅領域のネットワークづくりや、人材確保、看護の質向上に向けて「看護の出前事業」等も実施しています。

今年度も看護師職能委員会 I、II、和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会、行政、及び関係機関等と連携しながら在宅看護、介護施設の看護の機能を強化し、療養を支える訪問看護・介護領域における看護の質の向上並びに人材確保に努めて参ります。

### 5. 保健師活動の体制整備と機能強化

保健師が担っている役割は、生活習慣病予防を始めとして、介護予防・自殺対策・認知症予防・難病対策等の健康課題解決や災害支援等多岐にわたっています。保健師職能委員会では、保健師の専門性の強化、保健師間のネットワークづくり、保健師職能の組織力アップを目指して、職能委員を各地区支部の 8 名に産業分野からも一名を加え、保健・医療・福祉・産業等の場で働く保健師の連携強化と課題解決に取り組んできました。

今年度は、職能集会、保健師交流会等を継続し、一昨年発表された保健師活動指針を活用し、職能活動の活発化に努めて参ります。

### 6. 助産実践能力強化とその体制整備

助産師活動については、「院内助産システム」「助産外来」が全国的な広がりをみせています。一方で、少子化や産科医不足も相まって、分娩施設の減少が続く、産科混合病棟を余儀なくされています。そのため、助産実践が積み重ねられる場が少なくなると共に、助産師の不足や偏在化が指摘されています。助産師による、安全・安心な出産環境提供体制を推進するために、「助産師のクリニカルリーダーを活用した助産実践能力の強化支援」に努めています。

また、今年度は、最初の助産師のクリニカルリーダー レベル III 認証の申請が 8 月に予定されています。本協会においても、申請に向けた情報提供や、研修を実施し、助産実践能力強化に努めて参ります。

# 平成 27 年度 収支予算書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>							
1 経常増減の部				図 書 整 備 費	400,000	200,000	200,000
(1) 経常収益				賃 借 料	1,110,000	8,000,000	△ 6,890,000
特定資産運用益	10,000	20,000	△ 10,000	調 査 研 究 費	10,000	10,000	0
特定資産受取利息	10,000	20,000	△ 10,000	保 険 料	296,000	40,000	256,000
受取会費	54,000,000	55,000,000	△ 1,000,000	委 託 費	2,590,000	1,000,000	1,590,000
受取会費	54,000,000	55,000,000	△ 1,000,000	諸 謝 金	16,000,000	18,604,000	△ 2,604,000
受取建設資金負担金	10,000,000	10,000,000	0	租 税 公 課 費	4,070,000	3,500,000	570,000
受取建設資金負担金	10,000,000	10,000,000	0	情 報 処 理 費	592,000	0	592,000
受取入会金	4,000,000	4,000,000	0	支 払 手 数 料	185,000	30,000	155,000
受取新入会金	4,000,000	4,000,000	0	支 払 助 成 金	0	0	0
事業収益	64,359,100	82,512,000	△ 18,152,900	支 払 寄 付 金	0	0	0
受取受講料	34,000,000	28,000,000	6,000,000	雑 支 出	30,000	100,000	△ 70,000
受取会館賃貸料	0	408,000	△ 408,000	管 理 費	30,262,400	31,717,000	△ 1,454,600
受取福祉年金事務費	250,000	280,000	△ 30,000	役 員 報 酬	5,170,000	5,170,000	0
受取手数料料	830,000	600,000	230,000	給 料 手 当	7,710,000	5,930,000	1,780,000
受取負担金	0	0	0	賞 与	3,870,000	3,450,000	420,000
受取補助金等	9,850,000	30,556,000	△ 20,706,000	臨 時 雇 賃 金	0	0	0
日本看護協会助成金	7,900,000	7,990,000	△ 90,000	退 職 給 付 引 当 費	274,000	387,000	△ 113,000
保健師指導ミーティング受取助成金	0	350,000	△ 350,000	法 定 福 利 費	1,466,400	1,700,000	△ 233,600
自殺対策事業受取補助金	850,000	1,000,000	△ 150,000	福 利 厚 生 費	46,800	200,000	△ 153,200
地域医療再生事業受取補助金(出前講座)	1,000,000	1,000,000	0	渉 外 費	200,000	200,000	0
地域医療再生事業受取補助金(認定看護師)	0	20,116,000	△ 20,116,000	会 議 費	260,000	200,000	60,000
団体受取助成金	100,000	100,000	0	広 告 宣 伝 費	260,000	50,000	210,000
受取受託金	19,429,100	22,668,000	△ 3,238,900	旅 費 交 通 費	1,500,000	1,000,000	500,000
日本看護協会受取業務委託金	640,000	649,000	△ 9,000	通 信 運 搬 費	800,000	700,000	100,000
県ナースセンター委託費	4,777,300	9,621,000	△ 4,843,700	減 価 償 却 費	866,000	0	866,000
高度シミュレーション研修事業委託費	796,000	832,000	△ 36,000	消 耗 什 器 備 品 費	65,000	400,000	△ 335,000
潜在看護復職研修		5,720,000	△ 5,720,000	消 耗 品 費	520,000	1,500,000	△ 980,000
潜在看護職員復職支援事業委託費	4,237,000	1,481,000	2,756,000	修 繕 費	100,000	400,000	△ 300,000
看護師等の復職支援強化就業促進事業委託費	3,672,000	1,992,000	1,680,000	光 刷 製 本 費	1,560,000	1,000,000	560,000
看護職員出勤度に伴う登録システム運用委託事業費	3,564,800	0	3,564,800	印 熱 水 費	650,000	3,000,000	△ 2,350,000
専任教員継続研修委託事業	232,000	232,000	0	賃 借 料	390,000	500,000	△ 110,000
実習指導者研修会委託費	1,510,000	2,141,000	△ 631,000	会 館 委 託 料	1,500,000	2,000,000	△ 500,000
受取寄付金	800,000	700,000	100,000	保 険 料	104,000	400,000	△ 296,000
受取寄付金	800,000	700,000	100,000	諸 謝 金	1,000,000	1,200,000	△ 200,000
雑 収 入	62,000	11,000	51,000	租 税 公 課 費	1,430,000	1,000,000	430,000
受取利息	2,000	1,000	1,000	諸 会 費	150,000	300,000	△ 150,000
その他雑収入	60,000	10,000	50,000	情 報 処 理 費	300,000	700,000	△ 400,000
経常収益計	133,231,100	152,243,000	△ 19,011,900	支 払 負 担 金	0	30,000	△ 30,000
(2) 経常費用				支 払 手 数 料	65,000	150,000	△ 85,000
事業費	102,446,800	117,156,000	△ 14,709,200	雑 費	5,200	150,000	△ 144,800
役員報酬	6,550,000	6,550,000	0	<b>経常費用計</b>	132,709,200	148,873,000	△ 16,163,800
給料手当	24,460,000	26,077,000	△ 1,617,000	評価損益等調整前当期経常増減額	521,900	3,370,000	△ 2,848,100
賞 与	9,710,000	6,770,000	2,940,000	評 価 損 益 等 計			0
臨時雇賃金	5,220,000	4,970,000	250,000	当 期 経 常 増 減 額	521,900	3,370,000	△ 2,848,100
退職給与引当費	823,000	902,000	△ 79,000	2 経常外増減の部			
法定福利費	4,173,600	3,800,000	373,600	(1) 経常外収益			
福利厚生費	133,200	50,000	83,200	経常外収益計	0	0	0
報 償	150,000	150,000	0	(2) 経常外費用			
会 議 費	740,000	500,000	240,000	経常外費用計	0	0	0
広 報 啓 発 費	740,000	4,400,000	△ 3,660,000	当期経常外増減額	0	0	0
旅 費 交 通 費	11,000,000	13,462,000	△ 2,462,000	他会計振替額			
通 信 運 搬 費	1,813,000	2,345,000	△ 532,000	当期一般正味財産増減額	521,900	3,370,000	△ 2,848,100
減 価 償 却 費	2,898,000	3,000,000	△ 102,000	一般正味財産期首残高	647,795,465	647,795,465	0
消 耗 什 器 備 品 費	185,000	3,576,000	△ 3,391,000	一般正味財産期末残高	648,317,365	651,165,465	△ 2,848,100
消 耗 品 費	1,480,000	3,335,000	△ 1,855,000	<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
修 繕 費	148,000	200,000	△ 52,000	当期指定正味財産増減額	0	0	0
光 熱 水 費	2,500,000	0	2,500,000	指定正味財産期首残高	0	0	0
印 刷 製 本 費	4,440,000	5,585,000	△ 1,145,000	指定正味財産期末残高	0	0	0
				<b>III 正味財産期末残高</b>	648,317,365	651,165,465	△ 2,848,100

# 正味財産計算予算書内訳表

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合計	科 目	公益目的事業	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用益	0	0	10,000		10,000	図書整備費	400,000				400,000
特定資産受取利息	0	0	10,000		10,000	賃借料	1,110,000				1,110,000
受取会費	0	0	54,000,000		54,000,000	調査研究費	10,000				10,000
受取会費	0	0	54,000,000		54,000,000	保険料	296,000				296,000
受取建設資金負担金	0	0	10,000,000		10,000,000	委託費	2,590,000				2,590,000
受取建設資金負担金	0	0	10,000,000		10,000,000	諸謝金	16,000,000				16,000,000
受取入金会金	0	0	4,000,000		4,000,000	租税公課費	4,070,000				4,070,000
受取入金会金	0	0	4,000,000		4,000,000	情報処理費	592,000				592,000
事業収益	63,369,100	0	990,000		64,359,100	支払手数料	185,000				185,000
受取受講料	34,000,000	0	0		34,000,000	支払助成金	0				0
受取会館賃賃料	0	0	0		0	支払寄付金	0				0
受取福祉年金事務費	0	0	250,000		250,000	雑支出	30,000				30,000
受取手数料	830,000	0	0		830,000	管理費	0	0	30,262,400		30,262,400
受取負担金	0	0	0		0	役員報酬			5,170,000		5,170,000
受取補助金等	9,750,000	0	100,000		9,850,000	給料手当			7,710,000		7,710,000
日本看護協会受取助成金	7,900,000	0	0		7,900,000	賞与			3,870,000		3,870,000
保健指導ミーティング受取助成金	0	0	0		0	臨時雇賃金			0		0
自殺対策事業受取補助金	850,000	0	0		850,000	退職給付引当費			274,000		274,000
地域医療再生事業受取補助金 (シミュレーション)	0	0	0		0	法定福利費			1,466,400		1,466,400
地域医療再生事業受取補助金 (出前講座)	1,000,000	0	0		1,000,000	福利厚生費			46,800		46,800
地域医療再生事業受取補助金 (認定養成)	0	0	0		0	渉外費			200,000		200,000
団体受取助成金	0	0	100,000		100,000	会議費			260,000		260,000
受取受託金	18,789,100	0	640,000		19,429,100	広告宣伝費			260,000		260,000
日本看護協会受取業務受託金	0	0	640,000		640,000	旅費交通費			1,500,000		1,500,000
県ナースセンター受取委託費	4,777,300	0	0		4,777,300	通信運搬費			800,000		800,000
高度シミュレーション 研修事業委託費	796,000	0	0		796,000	減価償却費			866,000		866,000
潜在看護職員復職等 支援受託事業費	4,237,000	0	0		4,237,000	消耗什器備品費			65,000		65,000
看護師等の復職支援強化・ 就業促進事業委託費	3,672,000	0	0		3,672,000	消耗品費			520,000		520,000
看護職員届出制度に伴う 登録システム運用委託事業費	3,564,800	0	0		3,564,800	修繕費			100,000		100,000
専任教員継続研修事業費	232,000	0	0		232,000	印刷製本費			1,560,000		1,560,000
実習指導者研修会委託費	1,510,000	0	0		1,510,000	光熱水料費			650,000		650,000
受取寄付金	0		800,000		800,000	賃借料			390,000		390,000
寄付金収益			800,000		800,000	会館委託料			1,500,000		1,500,000
雑収益	0		62,000		62,000	保険料			104,000		104,000
受取利息			2,000		2,000	諸謝金			1,000,000		1,000,000
その他の雑収益			60,000		60,000	租税公課			1,430,000		1,430,000
<b>経常収益計</b>	<b>63,369,100</b>	<b>0</b>	<b>69,862,000</b>		<b>133,231,100</b>	結会費			150,000		150,000
(2) 経常費用											
事業費	102,446,800	0	0		102,446,800	情報処理費			300,000		300,000
役員報酬	6,550,000				6,550,000	支払負担金			0		0
給料手当	24,460,000				24,460,000	支払手数料			65,000		65,000
賞与	9,710,000				9,710,000	雑費			5,200		5,200
臨時雇賃金	5,220,000				5,220,000	<b>経常費用計</b>	<b>102,446,800</b>	<b>0</b>	<b>30,262,400</b>		<b>132,709,200</b>
退職給付引当費	823,000				823,000	評価損益等調整前当期経常増減額	<b>△39,077,700</b>	<b>0</b>	<b>39,599,600</b>		<b>521,900</b>
法定福利費	4,173,600				4,173,600	評価損益等計					
福利厚生費	133,200				133,200	当期経常増減額	<b>△39,077,700</b>	<b>0</b>	<b>39,599,600</b>		<b>521,900</b>
報償費	150,000				150,000	2. 経常外増減の部					
会議費	740,000				740,000	(1) 経常外収益					
広報啓発費	740,000				740,000	経常外収益計					
旅費交通費	11,000,000				11,000,000	0					
通信運搬費	1,813,000				1,813,000	(2) 経常外費用					
減価償却費	2,898,000				2,898,000	経常外費用計					
消耗什器備品費	185,000				185,000	当期経常外増減額					
消耗品費	1,480,000				1,480,000	0					
修繕費	148,000				148,000	他会計振替額					
光熱水料費	2,500,000				2,500,000	当期一般正味財産増減額					
印刷製本費	4,440,000				4,440,000	△39,077,700					
						一般正味財産期首残高					
						429,750,020					
						843,032					
						217,202,413					
						647,795,465					
						390,672,320					
						843,032					
						256,802,013					
						0					
						648,317,365					
<b>II 指定正味財産増減の部</b>											
当期指定正味財産増減額											
指定正味財産期首残高											
指定正味財産期末残高						0					
<b>III 正味財産期末残高</b>						<b>390,672,320</b>					
						<b>843,032</b>					
						<b>256,802,013</b>					
						<b>0</b>					
						<b>648,317,365</b>					

# 職能委員会報告

## 保健師職能委員会

委員長 櫻根桂子

### 【活動目標】

保健師の連携強化・ネットワークの構築を図り、いきいきと元気に活動する。

### 【活動内容】

- 職能委員会開催回数：10回開催
- 職能集会：平成26年8月2日（土）開催
  - ・場所：プラザホープ
  - ・参加者数：37名
  - ・講演：テーマ「2年間の保健活動最適化の試行事業に取り組んでー保健師としての意識が目覚めた？」
  - ・講師：三重県津市健康づくり課保健師 栗本 真弓
  - ・報告：「平成26年度日本看護協会および県看護協会職能委員会活動方針について」  
保健師職能委員長 櫻根 桂子
- 三職能合同研修会：平成26年8月2日（土）開催
  - ・場所：プラザホープ
  - ・参加者数：189名
  - ・講演：テーマ「地域包括ケア実現に向けた看護の役割～どう、生きたいかを支える、つなぐ～」
  - ・講師：在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス 代表 宇都宮 宏子氏
  - ・実践者の発表  
保健師職能 岩出保健所 主任 釜坂 加寿恵氏  
助産師職能 公立那賀病院 師長 神戸 祥子氏  
看護師職能Ⅰ 日本赤十字社和歌山医療センター看護部退院支援室 在宅看護専門看護師 戸石 未央氏  
看護師職能Ⅱ セントケア複合型城北複合型管理者 岡本 裕子氏
- 日本看護協会と協働（平成26年度保健指導ミーティング事業）平成26年12月7日（日）開催
  - ・場所：和歌山県看護研修センター
  - ・参加者数：33名
  - ・講演：テーマ「人材育成のための事例検討とは」
  - 講師：保健師のための相談室 なごみ主宰 塚原 洋子氏

- ・グループ討議  
「実践力をUPする事例検討」  
コーディネーター：和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 山田 和子氏
- ・話題提供 新任期保健師
- 交流会「わか町の保健師活動～つれもていこら保健師カフェ」平成27年3月8日（日）開催
  - ・場所：和歌山県看護研修センター
  - ・参加者数：29名
  - ・報告：平成26年度厚生労働省先駆的交流推進事業「統括保健師人材育成プログラム研修」  
田辺市健康増進課 参事 露詰 公子氏  
紀の川市健康増進課 課長補佐 井本 知江氏
  - ・交流会：「みんなで語ろう 楽しい保健師活動を」
- 三職能委員長情報交換（随時）  
三職能合同研修会や職能間の連携について協議した。特に三職能合同研修会の今後の開催について協議した。
- 地域住民の健康増進「まちの保健室」への協力
- 会員増加に関する対策
  - ①市町村保健師研修会に参加し、協会活動、入会案内、保健指導ミーティング事業について紹介や報告を行った。
  - ②保健師職能だよりの発行：11号、12号、13号
  - ③和歌山県看護協会ホームページへの掲載
  - ④職能委員会報告を行い、委員会活動、協会活動を紹介する（職能委員より管内全市町村に）。

### 【今後の課題】

- ①保健師職能だより等を利用しながら、協会活動を多くの保健師に伝え、加入率の増加を図る。
- ②県、市町村、病院、産業保健師など保健師間の連携を図るため交流会を開催する。
- ③県の保健師研修主管課と連携を図り保健師活動指針の普及啓発を図る。

## 助産師職能委員会

委員長 宮本靖代

### 【活動目標】

助産師の積極的な活動による安全で安心な妊娠・出産・育児環境の整備

1. 助産師のキャリアパス/助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の普及と啓発
2. 助産実践能力向上のために、キャリアアップ研修を開催する
3. 助産師職能として思春期教育出前事業を行い、地域に根ざした活動を行う

### 【活動内容】

- 委員会回数10回（内、臨時開催1回）
  - ・目標をテーマとした意見集約
  - ・助産師職能委員会活動の計画、準備、実施、評価、他
- 1. 助産師職能集会の開催
  - 日時：平成26年8月2日（土）10:00～12:00
  - 場所：プラザホープ
  - 参加者：34名
  - 内容：①報告  
平成25年度の事業活動報告 平成26年度の事業活動計画 思春期出前事業の報告
  - ②助産師研修  
テーマ「CTGの判読（応用編）」（ラダーⅢ必須研修）  
講師：城 道久 氏  
和歌山県立医科大学附属病院 産婦人科 助教
- 2. 三職能合同研修会の開催
  - 日時：平成26年8月2日（土）13:00～16:00
  - 場所：プラザホープ

- 参加者：189名
- 講演：テーマ「地域包括ケア実現にむけた看護の役割～どう生きたいかを支える、つなぐ～」  
講師：宇都宮 宏子 氏  
在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス 代表 実践者の発表：  
保健師職能 岩出保健所 主任 釜坂 加寿枝 氏  
助産師職能 公立那賀病院 主任 長谷 安子 氏  
看護師職能 日本赤十字社和歌山医療センター 看護部退院支援室 在宅看護専門看護師 戸石 未央 氏  
看護師職能Ⅱ セントケア複合型城北 複合型管理者 岡本 裕子 氏
- 3. 新人助産師研修会（助産師公開研修）
  - 場所：看護研修センター
  - 〈第1回〉  
日時：平成26年9月27日（土）13:00～16:00  
参加者：19名  
テーマ「妊娠中のケア」  
講師：岩田 塔子 氏 めぐみ助産院 助産師
  - 〈第2回〉  
日時：平成27年1月24日（土）13:00～16:00  
参加者：23名  
テーマ「母乳育児の基本」  
講師：奥谷 貴弘 氏  
和歌山県立医科大学附属病院 小児科 講師



〈第3回〉

日時：平成 27 年 2 月 21 日（土）13:00～16:00

参加者：41 名

テーマ「助産師に必要なフィジカルアセスメント」

（ラダーⅢ必須研修）

講師：松岡 俊英 氏 産婦人科医師

4. 近畿地区助産師合同研修会

〈第1回〉テーマ「助産実践能力強化に向けて－ALL JAPAN 助産師のクリニカルラダー認証 助産師教育に携わる管理者への支援－」

日時：平成 26 年 7 月 26 日（土）13:00～16:30

参加者：191 名

場所：大阪看護協会 レモンホール

「助産師のクリニカルラダー作成の経緯と助産師教育」

講師：福井 トシ子 氏 日本看護協会常任理事

「クリニカルラダーレベルⅢ（仮）のしくみ」

講師：高田 昌代 氏 日本助産実践能力推進協議会 会長

主な対象：看護管理者、教育担当者、実地指導者、助産師教育に携わる方

〈第2回〉テーマ「助産実践能力強化に向けて

－あなたも ALL JAPAN の助産師です－

日本看護協会 助産実践能力強化支援事業として開催

日時：平成 26 年 10 月 26 日（日）12:30～16:30

参加者：249 名

場所：京都 佛教大学 二条キャンパス

「目指そう！助産師のクリニカルラダーⅢ」

講師：福井 トシ子 氏 日本看護協会常任理事

「エビデンスに基づく助産ケア」（ラダーⅢ必須研修）

講師：江藤 宏美 氏 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

主な対象：助産師

5. 助産師交流会

日時：平成 27 年 11 月 29 日（土）13:00～16:00

参加者：35 名

場所：看護研修センター

講演：テーマ「助産実践能力強化・助産師実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の活用とラダーⅢ認証について…現状と今後」

講師：宮川 祐三子 氏 日本看護協会 助産師職能委員

大阪府立母子保健総合医療センター 副看護部長

事例発表：

テーマ「自施設における助産師のクリニカルラダーの導入と活用・ラダーⅢに向けての取り組み」

坂本 裕美子 氏 紀南病院

沖 婦美代 氏

独立行政法人 労働者健康福祉機構 和歌山労災病院

助産師研修

テーマ「分娩誘発剤の使用と輸液ポンプの使用について」（ラダーⅢ必須研修）

講師：助産師職能委員 他

6. インターネット(リアルタイム)研修会 (日本看護協会 配信)

日時：平成 26 年 12 月 20 日（土）1 日研修

参加者：22 名

場所：看護研修センター

テーマ「助産師のクリニカルラダーの評価と運用の実際」

7. 思春期教育出前事業

日時：平成 26 年 12 月 3 日（水）午後

和歌山県立向陽中学校に行き、3 年生 80 名を対象に「命の誕生」をテーマに講演

8. 町の保健室への協力（3回）

9. セーフ・マザーフード募金の協力

今年度は 6,070 円の募金の協力を頂いた。昨年度分までの 5,731 円とまとめ 11,801 円を日本看護協会を経て ICM に送金。

【今後の課題】

- ・助産実践能力 / 助産師のクリニカルラダーの啓発と普及推進の継続。
- ・クリニカルラダーレベルⅢ認証助産師や助産師の活躍の場を広げるための、意見集約と課題発見。

## 看護師職能委員会 I

委員長 東 直子

【活動目標】

1. 看護職の役割拡大と推進を行うとともに、看護の質向上と専門性を活かすための支援を行う。
2. 健康で安全に働き続ける職場作りを目指し、夜勤・交代性勤務に関するガイドラインの実態調査を行い、課題を見出す。

【活動内容】

委員会活動開催 10 回（研修会開催日を含む）

1. 看護師職能集会

日時：2014 年 8 月 2 日（土）10:00～12:00

場所：和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ

参加者：155 名

講演：テーマ「高齢者のエンド・オブ・ライフ」

講師：青梅慶友病院

看護介護開発室室長 老人看護専門看護師 桑田 美代子氏

2. 三職能合同研修会

日時：2014 年 8 月 2 日（土）13:00～16:00

場所：和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ

参加者：189 名

講演：テーマ「地域包括ケア実現に向けた看護の役割」

～どう生きたいかを支える、つなぐ～

講師：在宅ケア移行支援研究所代表 宇都宮 宏子氏

実践発表：①保健師職能 岩出保健所 主任 金坂 加寿恵氏

②助産師職能 公立那賀病院 師長 神戸 祥子氏

③看護師職能 I 日本赤十字社和歌山医療センター

看護部退院支援室 在宅看護専門看護師 戸石 未央氏

④看護師職能 II セントケア複合型城北

複合型管理者 岡本 裕子氏

3. 研修会開催

「専門職としての自己を振り返り課題解決のための手段を考える」

日時：2014 年 7 月 5 日（土）10:00～12:30

場所：和歌山県看護協会 和歌山県看護研修センター

参加者：46 名

講演：テーマ「看護職の働き方」を考える

講師：日本看護協会常任理事 川本 利恵子氏

4. 研修会開催

「専門職としてのキャリア形成のための継続教育について学ぶ」

日時：2014 年 10 月 18 日（土）13:00～16:00

場所：和歌山県看護協会 和歌山県看護研修センター

参加者：52 名

講演：テーマ「効果的な継続教育に向けた『継続教育の基準 ver 2』の活用」

講師：独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院

看護部長 高橋 弘枝氏

5. 研修会開催

「夜勤・交代性勤務の負担軽減のための工夫を学び取り入れる」

日時：2014 年 10 月 3 日（金）13:00～15:30

場所：県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛

参加者：53 名

講演：テーマ「夜勤交代制勤務についての取り組み」

講師：大阪府済生会吹田病院

事務長

宮部 剛実氏

副院長兼看護部長

池田 恵津子氏

副看護部長兼病棟看護師長

佐藤 美幸氏

6. 准看護師研修会

「看護の責任と専門性を発揮するための知識を取得する」

日時：2014 年 1 月 24 日（土）13:30～16:00

場所：和歌山県看護協会 看護研修センター

参加者：37 名

・講演：テーマ「看護・医療の動向について」

講師：和歌山県看護協会会長 古川 紀子氏

・体験発表：「准看護師から看護師を目指して」

白浜はまゆう病院 栗栖 千佳氏

・講演：テーマ「認知症看護の基本と患者の思いを知る」

講師：和歌山県立医科大学付属病院紀北分院  
認知症認定看護師 岸田 悦子氏

7. 男性看護師交流会「情報を共有しキャリアアップに繋げる」  
日時：2015年2月6日(金) 13:00～16:00  
場所：和歌山県看護協会 和歌山看護研修センター  
参加者：43名

・講演：テーマ「和歌山県における男性看護師のよりよい未来を築くために」  
講師：和歌山県立こころの医療センター  
看護部長 西原 均氏

- ・グループワーク：テーマ「男性看護師の未来」  
8. 専門看護師・認定看護師交流会  
「役割を認識し組織の活性化を図る」  
日時：2015年3月7日(土) 10:00～12:00  
場所：和歌山県看護協会 看護研修センター  
参加者：30名  
・発表：テーマ「組織の中での役割と活動」  
座長：公立那賀病院 がん化学療法看護認定看護師  
市埜 枝末子氏

①和歌山県立医科大学付属病院 がん専門看護師  
温井 由美氏

②和歌山県立医科大学付属病院紀北分院  
感染看護認定看護師 田中 治美氏

③紀州リハビリケア訪問看護ステーション  
摂食・嚥下障害認定看護師 東本 里奈氏

- ・グループワーク：テーマ「組織の中での役割と活動」  
9. 夜勤・交代制勤務に関する実態調査  
10. 夜勤・交代性勤務ガイドラインの普及  
和歌山県看護協会 会報「黒潮」掲載 4回  
11. 「まちの保健室」への協力

【今後の課題】

- ①看護職の役割を認識し、看護実践の強化をはかるための支援を行う  
②看護職が健康で安全に働き続けるために、2014年度の調査結果をもとに、継続して取り組む  
③県看護協会を中心とした各委員会・地区支部との連携強化とネットワークづくり

看護師職能委員会 II

委員長 中野美枝

【活動目標】

1. 介護・福祉施設・在宅領域のネットワークづくりと機能強化  
2. 看護協会活動のPRを行い、施設、在宅関連の協会員の増員を図り看護職能の組織を強化する  
3. 三職能の連携強化

【活動内容】

1. 「フィジカルアセスメント応用編」の研修を地区支部の協力のもと開催（県補助金事業）  
研修後、交流会開催と看護協会入会案内

地区	新宮	南海海草	田辺	伊都
日時	7/12	8/23	9/27	10/4
参加者数	13名	24名	28名	8名
講師	汐崎末子	泉仁美	井上潤	白石菜穂子

地区	有田	和歌山	那賀	日高
日時	11/29	12/13	1/31	2/7
参加者数	21名	34名	21名	40名
講師	汐崎末子	穴井聖二	汐崎末子	日置真弓

2. 「認知症の理解と対応について」の研修を3施設において開催  
研修後、交流会開催と看護協会入会案内

施設名	高陽園(老健)	コーラルハウス(有料老人ホーム)	にしき園(特養)
日時	10/29	11/21	2/21
参加者数	30名	32名	30名
講師	佐藤房子	佐藤房子	佐藤房子

3. 看護師職能 I II 研修：参加人数 155名

テーマ 「高齢者のエンド・オブ・ライフケア」

講師 桑田美代子先生

日時 平成26年8月2日

- 三職能合同研修会：参加人数 189名

テーマ 「地域包括ケア実現に向けた看護の役割」

シンポジウム：保健師・助産師・看護師の立場から

講師 宇都宮宏子先生

日時 平成26年8月2日

【今後の課題】

日本看護協会の看護師職能委員会Ⅱの活動目標として、「看取りケアに関する研修プログラム」の普及啓発と、新たに地域全体で認知症の人を支えるための課題発見・意見集約があげられている。それに基づき、一昨年、昨年、今年度において、「看取り」「感染」「摂食嚥下」「認知症の理解と対応」について研修を行った。次年度は、日本看護協会が提案する「介護施設等における看取り研修プログラム」の内容に沿って、事前に配布するアンケートの結果も含め、訪問看護ステーション、介護施設に勤務する看護職、介護職にとどまらず、地域住民に向けた研修の企画が必要である。「介護施設等における看取り研修プログラム」のⅠ基礎知識編の大項目「老衰死および終末期の状態像の変化」「全人的苦痛」「看取りに関する法律など」「倫理的課題」について企画を検討予定である。

常任委員会報告

社会経済福祉委員会

委員長 岸上恵美

【活動目標】

1. 看護職がいきいきと働き続けられる職場作りに向けて、「WLB推進ワークショップ」の取り組みを支援する。  
2. 看護職への禁煙推進活動

【活動内容】

・回数：委員会開催回数 7回

1. 今年度は、WLBを重点的に取り組み、年2回開催の「WLB推進ワークショップ」の事業運営についてWLB推進委員会をサポートした。

4月	・WLB推進委員会へ参加 参加施設は平成24年度から引き続き橋本市民病院、海南医療センターの2施設と平成26年度からの中谷病院1施設の計3施設
5月	・平成26年度委員会年間計画の立案 ・施設における看護師向け禁煙対策の紹介依頼文書を作成 ・第1回WLB合同会議へ参加 WLB参加施設と担当委員、WLB推進委員、支援者との打ち合わせ 支援者よりインデックス調査についての説明

6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界禁煙フォーラム2014の参加報告</li> <li>・WLBワークショップに向けての準備</li> <li>・黒潮128号への掲載文を作成</li> <li>・黒潮掲載原稿を施設へ依頼</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WLB推進ワークショップ(9月9・10日に開催)に向けての準備と最終確認。役割分担</li> <li>・禁煙アドバイザー育成講習会(7月17日)参加報告</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/2 第2回WLB合同会議へ参加</li> <li>・9/9、10 WLB推進ワークショップ開催</li> <li>① WLBの基本的な考え方について</li> <li>② 看護職のWLBインデックス調査及び調査結果の見方について</li> <li>③ WLB実現のためのアクションプランについて</li> <li>各施設に分かれ、インデックス調査結果の分析から問題、課題を明確にしアクションプランを作成。それに基づいて全体討議。</li> <li>・第129号黒潮掲載原稿確認(ろうさい病院 新人看護職員に対する禁煙指導)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回社会経済福祉委員会開催</li> <li>・WLBフォローアップワークショップの役割分担</li> <li>・第3回WLB合同会議へ参加</li> <li>・フォローアップワークショップ(平成27年1月26日開催)プログラムについての打ち合わせ</li> </ul>

1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回WLBフォローアップワークショップ参加</li> <li>各施設での取り組みの報告・討議・意見交換</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回社会経済福祉委員会開催</li> <li>・平成26年度事業活動のまとめ</li> <li>・平成27年度事業活動計画(案)の作成</li> <li>・第2回WLB推進委員会に参加</li> </ul>

2. 看護職の禁煙推進活動
- 1) 和歌山県看護協会会報「黒潮」へ禁煙推進記事を下記の内容で掲載した。
- ① 第128号へ「世界禁煙デーフォーラム2014in 和歌山参加報告」
  - ② 第129号へ「新人看護職員に対する禁煙指導」  
(労災病院 高田 知那美)

#### 【今後の課題】

1. 看護職の職場定着に向けて、WLB推進ワークショップへの取り組みの継続
2. 看護職への禁煙推進活動の継続

## 教育委員会

### 委員長 袋邊 学

#### 【活動目標】

『看護専門職としての知識・技術を深め、看護実践能力の向上に必要な教育の企画・運営を行うことができる』

#### 【活動内容】

- ・教育委員会開催回数 12回
- ・研修の企画・運営・評価を行った。教育計画については、1月中にほぼ完成した。
- ・研修会は、26テーマ(32日)を開催した。
- ・研修内容について  
外来看護の強化を図る目的で『外来看護に求められる専門性と役割』として行った『透析を必要とする患者の看護』の研修は、受講者ニーズと一致しており実践に活かせると評価を得た。『エンゼルケア』研修では、以前から、参加者の要望が高かった演習を、平成26年度より研修内容に取り入れ良い評価であった。看護は人間を対象とする職業であることから、対人関係におけるコミュニケーション技術の向上や、看護師自身のメンタルヘルスが重要であると考え、対人関係を円滑にするために役立つ研

修として『吉本新喜劇から学ぶ最強のコミュニケーション』という画期的な企画をし、多数の参加者を得て好評であった。

- ・開催場所  
看護研修センター18回、ビッグ愛1回、県文1回  
医大生涯センター3回、和歌山国際厚生学院2回、  
和歌山県地場産業センター1回、ビッグU4回、  
日高看護専門学校1回、紀南文化会館1回

#### 【今後の課題】

- ・社会背景に応じた看護が提供できるように、また、受講者が自ら受講したいと思えるような魅力ある研修企画・運営を行うことが必要である。
- ・新設される看護研修センターを活用した研修企画を充実させる。
- ・職能やリスクなど、教育委員会だけでは担当できない部門研修に関しても充実していく必要があるため、委員会間の連携の強化が必要である。

## 広報委員会

### 委員長 中口 千枝子

#### 【活動目標】

1. 和歌山県看護協会の動向、タイムリーな情報、最新の情報の提供
2. 読者参加型の紙面作り

#### 【活動内容】

1. 年間9回の会議を開催した。
2. 和歌山県看護協会会報「黒潮」発行4回(127～130号)
3. 和歌山県看護協会の動き、各職能委員のコーナー、知って得する看護協会便り継続した。
4. 「私の○○」「リレーエッセイ友達の輪」「医療安全数珠つなぎ」「訪問看護ステーション便り」「My Hospital」などのコーナーを継続した。

5. 昨年に引き続き、広報紙への関心を深めていただくために、「My Hospital」では新設の看護学校を紹介した。また、多くの方に受験してもらえるように救急認定看護師教育課程について紙面で紹介した。また、プレゼントの内容を検討し提案した。

#### 【今後の課題】

- ・読者参加型の紙面にするために内容を検討する。
- ・多くの協会員に読んでもらえるようにプレゼントの内容なども検討する。
- ・和歌山の看護協会がどのような活動をしているのかを各委員会を通して協会員に紹介していく。

## 医療安全対策委員会

委員長 澤田 康幸

### 【活動目標】

1. 医療安全管理者養成研修会を企画・開催し、円滑な運営を実施する。
2. 県内医療安全管理者養成研修修了者へのフォローアップ研修および交流会を企画・開催し、県内医療安全管理者のネットワークの構築を推進する。
3. 研修会、交流会の企画・運営の評価を行い、次年度の計画に活かす。

### 【活動内容】

1. 委員会開催回数 9回 (13:30～17:00)
  - 1) 検討内容
    - ①医療安全管理者養成研修会、県内医療安全管理者養成研修会修了者フォローアップ研修および交流会の企画・運営。および研修後の評価について検討を行った。
    - ②今年度導入した医療安全管理者養成研修 e-ラーニングの進行状況の調査および進行状況に応じて受講者への連絡をし、研修がスムーズに修了できるよう調整を図った。また、途中経過での受講生アンケート結果の評価、集合研修の評価等を行った。
    - ③医療安全情報のホームページについての検討・ホームページの更新。
  2. e-ラーニング活用型医療安全管理者養成研修  
医療安全現場における安全管理を効果的に、医療の質を

保証することができる医療安全管理者を養成することをねらいとし、e-ラーニング活用型医療安全管理者養成研修（集合研修2日間）を開催し、44名が参加。42名が修了した。研修のアンケート結果からは、従来の7日間集合研修と比べて評価が低かった。

3. 県内医療安全管理者養成研修会修了者フォローアップ研修会および交流会の開催

今年度は要望が多かった紀南地区でも開催した。

紀南地区 日時：平成26年10月31日（金）10:00～16:30  
場所：ビッグU 研修室2

工学院大学教授 笥 淳夫先生

「施設環境と安全管理」の講義および交流会

参加者 58名

和歌山地区 日時：平成27年3月6日（金）10:00～16:30

場所：和歌山県看護研修センター

株式会社 日本看護サービス 代表 餅田 敬司 先生

「他職種を巻き込んだ医療安全管理活動の進め方」

参加者 60名

### 【今後の課題】

- ・医療安全の情報提供としてHPを立ち上げたが、現在はまだ利用者が少なく、今後さらに多くの人に活用してもらうための広報や、HPの内容の充実を図る必要がある。また、HPを活用してメールで情報交換するなど、医療安全管理者のネットワーク拡大を進めていく。

## 災害看護対策委員会

委員長 曾和 倫代

### 【活動目標】

1. 災害支援ナースの登録ネットワークシステムの構築
  - ・災害支援ナースマニュアルの整備
  - ・災害支援ナース登録の推進（申請書の配布・登録・管理）
2. 災害支援ナースの育成
  - ・災害看護研修の企画・実施
  - ・フォローアップ研修の企画・実施

### 【活動内容】

1. 委員会の開催 11回（毎月第3金曜日）  
（5/16、6/20、7/18、8/22、9/19、10/17、11/21、12/19、1/16、2/12、3/20）

- ・災害支援ナース登録証配布・登録更新
  - ・災害支援活動マニュアルの整備
2. 災害看護研修の開催
    - ・災害看護Ⅰ（衛星通信：基礎編）7月10日、11日
    - ・災害看護Ⅱ（災害支援ナース育成研修）  
平成27年2月11日、12日
  3. その他
    - ・都道府県看護協会災害看護担当者会議への参加 7月30日
    - ・都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加 9月2日、3日、4日

## 看護研究学会委員会

委員長 坂口 正

### 【活動目標】

看護研究学会の円滑な運営に向けての準備、調整を行うことができる。

### 【活動内容】

回数 委員会 13回 看護研究学会 2月7日（土）

#### 1. 審議事項

- 1) 看護研究学会のテーマの検討
- 2) 特別講演の講師の選定、講演依頼内容の検討
- 3) セミナーの内容および講師の検討
- 4) 演題募集要項、抄録原稿要項の検討
- 5) 査読者決定および査読判定基準の検討、査読結果の送付
- 6) プログラムの検討および作成
- 7) 抄録集の検討および作成、印刷依頼
- 8) 運営のしおり検討および作成
- 9) 年間予定表の検討
- 10) 広報活動の検討（ポスターを含む）

#### 2. 活動内容

- 1) 学会のテーマは「輝く笑顔でよりそう看護～ともに学び、ともに育つチームづくり～」とした。
- 2) 特別公演は、近年多くの病院で導入されている新しい看護提供方式であるパートナーシップ・ナーシング・システムの特徴や効果について、橘 幸子先生（福井大学医学部付属病院 副院長・看護部長）に講師を依頼した。特別講演のテーマは「パートナーシップ・ナーシング・システム

の導入と活用」となった。

- 3) 今年度の看護研究学会は、25年度の学会後のアンケートも踏まえてシンポジウムではなく、現場で役立つ看護実践セミナーとした。セミナーのテーマは「いきいきと働き続けるために」とし、座長には東 直子先生（白浜はまゆう病院 副委員長）をお願いした。講師には臨床心理士の坂田 真穂先生と色彩心理カウンセラーの竹村 英子先生をお願いした。坂田先生には「看護がもたらす“やりがい”と“こころの疲弊”について考える - ケアの職業的本質と、現代医療における看護職という視点から -」、竹村先生には「色感と脳科学から考える いきいき働くポイント」との講演をしていただいた。
- 4) 発表演題数は29題 参加者は341名であった。

### 【今後の課題】

発表演題数は29題で昨年度より減少したが、研究内容やスライド・ポスターの作製や発表は年々上達しているように感じられた。□演会場では会場からの質問が少なく、座長から質問する場面が多くみられる群もあった。今後は活発な意見交換ができるように検討する必要がある。

今年度の研究学会は急な会場の変更があったが、参加者は昨年度に比べ増加し、アンケート結果からも特別講演や看護セミナーに関して好評であった。学会に多く参加してもらうためにも、学会参加者が興味を持って参加できるよう学会の企画・運営の詳細を決定していきたい。

# 特別委員会報告

## 「まちの保健室」運営委員会

委員長 野上千晶

### 【活動目標】

1. 「まちの保健室」開催の定着化を図り、地域住民の健康に対する認識と看護協会活動の理解を高める。
2. 地域住民の生活習慣見直しのきっかけづくりや改善に向けての支援ができる。
3. 高校、短大や看護の日のイベント等での開催を通じて、看護への関心を高め人材育成につなげる。

### 【活動内容】

1. 活動回数：12回  
（「まちの保健室」健康チェック事業開催6回  
委員会開催6回）
2. まとめ  
今年度、「まちの保健室」への参加者総数は487名、平均81名であった。今年度の3月のまちの保健室は、中止となり昨年度より参加者数は減少した。リピーター率は、平均18%であり徐々に上がってきている。これは、開催場所を一定化していることや次回開催日を掲示したことで効果があったと思われる。参加者数の減少要因は、周辺に大型ショッピングセンターができ影響があったのかと考えられる。また、初回参加者では通りすがりでの参加が最も多く、事前広報が十分でなかったため今後取り組んでいく必要がある。参加者の年齢は、60代以上が41%であった。各計測項目では、骨密度測定が好評で特に女性に関心が高かった。健康相談では、今年度も各職能や栄養士の方々の協力を得た。各項目で異常値が出た時は、各担当者から簡単

な説明は行ったが、総合的な説明は内容により専門の相談員より説明が行われた。また、相談内容も多種多様であり、各相談の担当者は資料を準備し効果的な指導がなされ好評であった。

参加者アンケートの回収率93%であった。隔月での運営委員会では、協力員からの意見や評価・反省の他、アンケートで寄せられた意見について検討した。また、開催運営には毎回10名前後の要員が必要で、委員の他に各施設やセカンドキャリアからのべ38名の協力委員に支援をいただいた。

今年も信愛女子短期大学・向陽高校の2校で健康チェック事業を開催し、両校で317名の参加者があった。男子生徒も白衣体験をしたり、聴診器で実際の心音や脈拍を測定する体験ができ好評であった。昨年度に比べ参加者数は倍近く増加した。また、看護職志望の生徒が多かったため今後の参考になるという意見もあった。

### 【今後の課題】

1. アンケートでは看護協会を知らないと答えた方は平均72%であった。次年度も引き続き看護協会活動の広報を行い（公社）看護協会の理解と認識を高めていく。ポケットティッシュの配布も継続していく。
2. 次年度も高校や短大での開催を計画し看護への関心を高めることで人材育成につなげていく。
3. 健康チェック事業を充実していけるような協力員体制の増加も考慮したい。

## 在宅看護推進委員会

委員長 木村晴美

### 【活動目標】

・在宅看護に関する看護師の質向上と看護連携の強化  
和歌山県内の病院・医院、施設、訪問看護ステーション、潜在看護師など（看護協会非会員含む）が、お互いの仕事を理解し連携できるよう顔の見える関係づくりをすすめる。

### 【活動内容】（研修等具体的に）

1. 看護職間の連携強化のための研修会の実施（企画～評価まで）  
「もっと身近に看一看連携！」とテーマを掲げ、研修会及び交流会を開催する。より多くの看護師に参加して頂けるように紀北（11/1）・紀南（12/6）に1回ずつ研修会を開催した。

#### 【紀北研修】

日時：11/1（土）13：30～17：00

場所：海南保健福祉センター

#### 1) 公演

講師：安川診療所 所長 安川修 氏

内容：「看取りと連携」

#### 2) 「ワールドカフェ方式によるGW」

#### 【紀南研修】

日時：12/13（土）13：00～16：30

場所：紀南病院

#### 1) シンポジウム 座長：南たえこ氏

シンポジスト：紀南病院看護師：田中恵津子氏

白浜はまゆう病院地域医療連携室

副看護部長 藤若由起子氏

竹村居宅介護支援事業所

居宅介護支援専門員 杉若美津子氏

新宮保健所 主査 前地伸浩氏

訪問看護ステーションのぞみ

所長 鈴木初美氏

#### 2) 「ワールドカフェ方式によるGW」

※今回の研修会の開催によって、看護師間の仕事の理解や顔の見える関係づくり等ができ、看看連携を深められたのではないかとと思われる。

## 看護研修センター建設推進委員会

委員長 塩路有理

### 【活動目標】

新看護研修センターの基本方針踏まえ、将来の展望を見据えた看護研修センター建設を推進して行く

### 【活動内容】

委員会開催回数：9回

平成26年2月4日にトランスコスモス健康保険組合と売買契約を締結して以降、平成26年度は新看護研修センター建築に向けて業者と基本設計を話し合い、打ち合わせを繰り返し行った。特に新築する大ホールと既存施設の改築部分の検討を行い、基本方

針に沿った新看護研修センターになるように話し合いを重ねた。

平成26年8月28日に工事の無事を祈願する「地鎮祭」をとりおこない、9月より着工した。工事は順調に進み、平成27年3月23日に和歌山県知事のご臨席のもと竣工式を執り行うことができた。3月末には無事引越しが完了し、4月より新たな看護研修センターで執務を行うことができた。

また、4月4日には日本看護協会会長の坂本すが様をお呼びして、記念講演会を開催し、新築の大ホールのお披露目をする事ができた。

#### 【今後の課題】

長年の会員皆様の祈願であった「新看護研修センター」が完成し、委員会の役目は終了となった。

これまでの会員皆様のご協力なくしては完成できませんでした。

また、これまで看護研修センター建設推進委員会に関われ、ご尽力された委員の皆様にも心より感謝すると共に、「新看護研修センター」が看護職員のよりどころとなり、大いに活用されることを心より願い、委員会を終了いたします。ありがとうございました。

## ナースセンター事業促進委員会

委員長 上田 陽子

#### 【活動目標】

看護職員の就業促進と確保及び離職防止対策のため、県行政やハローワーク等との連携を密にし、再就業者の増加を図ると共に、看護職員の資質の向上を図る。

#### 【活動内容】

1. 委員会開催回数 8回
2. ナースセンター事業の活性化及び就業促進  
ハローワーク和歌山にて「ナースのお仕事相談」を毎月1回第2金曜日に開催し、26年9月より第4金曜日を追加し月2回開催  
さらに、27年1月から3月まで、紀北・紀南にてそれぞれ月4回開催

- 26年度は開催回数47回相談者総数14名
3. セカンドキャリア交流会開催  
開催日 平成27年11月27日  
セカンドキャリア参加者数 23名  
病院及び施設参加数 6施設
4. ナースセンター事業に係る研修会への協力参加 8回
5. その他関連事業について協力参加  
「看護の心」普及啓発事業4回、その他2回

#### 【今後の課題】

1. ナースセンター事業の普及及び啓発
2. 相談窓口の充実と拡大
3. 潜在看護職員の届け出制度の普及及び啓発

## 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 角谷 知恵美

#### 【活動目標】

認定看護管理者教育課程（セカンドレベル・ファーストレベル）実施や改善のための検討をおこない、教育課程の充実と推進を図り、円滑な研修の運営を実施する

#### 【活動内容】

- 回数：運営委員会7回  
ファーストレベル開講式、閉講式  
セカンドレベル開講式、閉講式
1. 平成26年度 認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程の実施と評価  
6月26日（開講式）から12月2日（閉講式）までの7教科目150時間を実施し、50人が修了した。研修終了後の講師毎のアンケート結果は好評で、受講者の自己評価も受講前後で上昇していた。
  2. 平成26年度 認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程の実施と評価

- 10月23日（開講式）から翌1月13日（閉講式）までの5教科目180時間を実施し、25人が修了した。研修終了後の講師毎のアンケート結果では、理解度、実践への活用、モチベーション等評価はよかった。統合演習などを通して受講生同士での学びを深めることができていた。
3. 看護管理実践報告会の開催  
セカンドレベル教育課程修了者のフォローアップ研修として2月14日に看護管理実践報告会を開催した。平成25年度修了者13人が1年間の取り組みをまとめ、報告した。

#### 【今後の課題】

- ・ファーストレベル教育課程、セカンドレベル教育課程の研修会の運営
- ・ファーストレベル教育課程修了者のフォロー研修の検討
- ・セカンドレベル教育課程の受講者の確保
- ・看護管理実践報告会の運営

## その他委員会報告

### WLB推進委員会

推進者 山本 喜久子

#### 【事業目的】

地域を主体に看護職のワーク・ライフ・バランス（WLB）の実現に取り組み、看護職がいきいきと働き続けられる環境づくりを支援する。

#### 【活動内容】

- 回数：推進委員会 2回  
参加施設への説明会 1回  
参加施設推進委員合同会 3回  
平成26年度取り組み参加施設 3施設  
（橋本市市民病院、海南医療センター、中谷病院）
1. 「WLB推進ワークショップ」において、参加施設の取り組みに対する助言・支援
  2. ワークショップの企画・運営
  3. ワークショップ開催（公開講座）

- 開催日：平成26年9月9日（月）、10日（火）  
場 所：和歌山県看護研修センター  
ファシリテーターとなり、参加施設のアクションプラン作成への助言・支援
4. フォローアップ・ワークショップ開催  
開催日：平成27年1月26日（月）  
場 所：和歌山県看護研修センター  
ファシリテーターとなり、参加施設の取り組み報告・討議に対し助言・支援
  5. アドバイザーとして参加施設訪問を実施

#### 【今後の課題】

1. 参加施設の拡大を図る。
2. インデックス調査結果の分析方法の学習

# 地区支部報告

## 伊都地区支部

支部長 岩崎 留美

### 活動目標

地域のイベントに積極的に地区支部として参加・協力していく。そこから看護協会の知名度を上げ会員の増員を目指す。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護職能Ⅱの出前講座に協力	10月4日	参加者：12名 協力員：4名	看護職能Ⅱ	・フィジカルアセスメント 慢性呼吸器認定看護師 白石奈保子（紀和病院）	・呼吸器疾患患者を看護するうえで必要な基礎知識を再学習することができた。 ・肺炎・誤嚥性肺炎などで入院を繰り返す患者の肺炎予防につなげてほしい。
平成26年度事業「すこやか橋本学びの日」	11月30日	参加者：3000名 協力員：1名	橋本市青少年	・救護活動	・大きな事故やけがの発生もなく無事に終了した。
かつらぎ町ボランティアまつり	2月21日	参加者：80名 協力員：9名	かつらぎ町民	・血圧測定・体脂肪測定 ・手洗いチェッカー ・健康相談・栄養指導	・血圧測定・体脂肪測定は、値に応じて健康相談を行った。手洗いチェッカーは子供から高齢の方にも好評であった。
「平成26年度ジュニア・リーダー研修会」	3月24～26日の3日間	参加者：約65名 協力員 24日：1名 25日：2名 26日：2名	橋本市小学生4年生 高校生・大学生・スタッフ	・ジュニア・リーダー育成活動内での救護活動	・事故やけがの内容に無事に終了することを願う。
今後の課題	会員数の獲得のため魅力のある活動計画の立案を行う。				

## 那賀地区支部

支部長 大久保 まさ子

### 活動目標

地区活動を通し、会員及び地域住民との交流・情報提供ができる

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事「1日まちの保健室」	平成26年5月10日（土）	144名	地区住民	血圧・体脂肪・骨密度測定・等健康相談と指導	看護の日のアピールと住民からの感謝と期待が多かった。
支部集会・研修会	平成26年6月21日（土）	88名	地区支部会員 非会員	平成25年度事業報告・平成26年度事業計画報告 研修「褥瘡治療における看護師に必要な知識」 講師 皮膚・排泄認定看護師 久保乃英先生	褥瘡についての理解が出来た。基礎から実践力をつけたいという意見もあり、次回の企画に役立てたい。
老人月間	平成26年10月25日（土）	58名	地区支部会員 非会員	研修「リンパ浮腫について」 講師 貴志川リハビリテーション病院 リハビリテーション部統括 岩田由明先生	興味深いテーマで、非常に分かりやすかった。実技時間を多くという要望があったので、次回の企画に役立てたい
訪問看護ステーション出前事業	平成27年1月31日（土）	22名	地区支部会員 非会員	「フィジカルアセスメント」 講師 集中ケア認定看護師 汐崎末子先生	在宅看護でのフィジカルアセスメントの基礎が理解できた。
施設会員代表者会議	平成27年3月20日（金）		支部施設代表者	古川会長よりH26年度事業報告・H27年度計画案について等	
役員会	8回	3名	支部役員	理事会報告・支部運営に関する検討等	
今後の課題	1 看護協会員数の増加に努める 2 他施設の看護職や他専門職種との連携強化				

## 和歌山地区支部

支部長 岡室 優

### 活動目標

1. 地区支部活動を通して、地域住民の看護協会への理解を深める
2. 地区支部会員に対して、必要な情報を提供する
3. 地区支部会員に対して、看護実践の現場に生かせる研修会を実施する

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護の日事業 「まちの保健室」	平成26年 5月11日(日)	78人	地域住民	「出前健康チェック」骨密度測定・血流測定・ スモーカーライザー測定・健康相談など	今年度も労災病院の行事と共同で開催し、 参加者から行きたいところを選んでよかつた
平成26年度 地区支部集会	平成26年 6月7日(土)	110人	会 員	「地区支部集会」 平成25年度事業報告・平成26年度事業計画	研修会と重なることで参加者が増えた
第1回研修会	平成26年 6月7日(土)	110人	会 員・ 非 会 員	テーマ「高次脳機能障害を学ぼう」 ～日々のどうして?とどうすれば?のために～ 認定看護師	各病院で、興味ある内容であり、予定より 多数の参加があった
老人看護月間行事 「まちの保健室」	平成26年 9月13日(土)	86人	地域住民	「出前健康チェック」 血流測定・疲労度測定・骨密度測定・健康相談 など	スーパーで開催し参加者が多くなった。整理券を配布し参加者の待ち時間の解消になった
第2回研修会	平成26年 11月15日(土)	35人	会 員・ 非 会 員	テーマ「高齢者・認知症糖尿病患者のインスリン導入」 「視力障害・麻痺のある糖尿病患者のインスリン導入」	研修のテーマが細かくなっていたため、分 かりやすかつた
訪問看護ステーション 出前事業	平成26年 12月13日(土)	34人	訪問看護・ 福祉施設の 看護職	講義「フィジカルアセスメント応用編」 講師：集中ケア認定看護師 穴井 聖二先生	研修内容は、わかりやすくよかつた。他 施設の方と交流ができた
地区支部 施設代表者会	平成27年 3月16日(月)		施設代表者	県看護協会会長より報告・説明	
役員会	11回	6人	地区支部 役 員	事業の打ち合わせ・反省等	
今後の課題	現場に生かせる研修会を企画し、地域の看護の質向上を目指す。地域住民に対して、看護協会の活動をアピールする。				

## 海南・海草地区支部

支部長 宮井 裕見子

### 活動目標

1. 看護の資質向上に努める
2. 地域住民の生活習慣病の予防・介護予防の推進

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護の日事業	平成26年 5月17日(土) 13:30～16:00	地域住民: 101名 役員・協力員: 15名	地域住民	1日まちの保健室 身長・体重・血圧測定・体脂肪・骨密度測定 健康相談 看護の日アピール	体脂肪・骨密度測定を通して、運動や食 事について考える良い機会となった。
第1回地区支部 研 修 会	7月12日(土) 13:30～15:00	会 員: 113名 非 会 員: 3名	会 員 非 会 員	演題 嚥下障害の評価と訓練 講師 さかい耳鼻咽喉科 酒井 章博先生	嚥下障害者への取組紹介において基礎疾 患理解と多職種間の連携について学を深 めた。
26年度地区支部集会	7月12日(土) 15:00～15:30	会 員: 113名	会 員	平成25年度 活動報告 平成26年度 事業計画	
老人看護月間行事	10月19日(日) 10:00～15:00	地域住民: 278名 役員・協力員: 12名	地域住民	海南市健康まつり 脳トレーニング体験・豆づかみ・かなひろい	定例行事として位置付けられ、多数の参 加者で賑わった
第2回地区支部 研 修 会	12月20日(土) 14:00～15:30	会 員: 112名 非 会 員: 11名	会 員 非 会 員	演題 カウンセリング・人間関係論 ～コミュニケーション能力を高めるために～ 講師 高野山大学 森崎雅好先生	とても面白かつた コミュニケーションについて考える良い 機会となった 森崎先生の第2弾をして欲しい
施設会員代表者 議 会	平成27年 3月18日(水)	会 員: 14名	施 設 代 表 者	日本看護協会の動向 平成26年度事業経過報告・27年度計画	
地区役員会	4回開催		役 員	地区支部事業について 県看護協会理事会報告	
今後の課題	会員研修の充実、会員数の増加				



## 有田地区支部

支部長 古川 さ ゆ

### 活動目標

- ・看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への認知、理解を深める。
- ・広報活動等により新会員の増加に努める。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	平成26年 5月10日(土)	50名 7名	一般住民 役員・協力員	健康チェック・血圧測定・身長測定・体重測定・腹囲測定・体脂肪測定・保健指導、健康相談、介護相談、看護の日グッズ配布	体組成計の測定を取り入れたことで、特に高齢者の方に興味を持って頂けた。昨年より多い人数の参加があった。
平成26年度地区支部集会	平成26年 7月5日(土)	70名	会 員	平成25年度事業報告及び会計報告 会計監査報告 平成26年度事業計画(案)及び会計報告(案) 役員改選等	
第1回研修会	平成26年 7月5日(土)	70名 1名	会 員 非 会 員	「慢性呼吸器疾患看護」 講師 南労会紀和病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師及び3学会合同呼吸療法士 白石菜保子先生	多数の資料や動画等で呼吸に関する基本がわかりやすかった。具体的な症例を通して学びたい等の意見があった。
老人看護月間行事	平成26年 11月2日(日)	100名 8名	一般住民 役員・協力員	健康チェック・血圧測定、骨密度測定 保健指導、健康相談、介護相談	新たに骨密度測定が加わり好評であった。測定結果に基づいた指導を行うことが出来た。
第2回研修会	平成27年 2月21日(土)	78名	会 員	看護研究発表会7題	活発な意見交換ができ、他施設の取り組みを知ることができました。
施設代表者会議	平成26年 3月19日(木)	3名 8名	施設代表者 役 員	県看護協会古川会長より ・日本看護協会の動向 ・県看護協会の平成27年度事業計画等	
役 員 会	4回	8名	役 員	理事会・支部長会報告 地区支部運営に関する検討	
今後の課題	地域住民対象の事業を通して、地域住民に看護協会の認知度を高める。 魅力ある研修を企画・実施し、会員増につなげる。				

## 日高地区支部

支部長 東 る み 子

### 活動目標

地域住民の健康をサポートし、地域と密着した活動を行う

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護週間行事 「一日まちの保健室」	平成26年 5月10日 13:00～15:00	80名	一般住民	・血圧測定・末梢血管循環測定 ・骨密度・体脂肪測定・健康相談	○活動時に和歌山県看護協会と入れたピブスを着用し、協会活動をPRした。大型スーパースタッフにすることで、参加者が増えた。
第1回研修会	平成26年 7月19日 13:30～15:00	50名	会 員	講演「褥瘡予防(ポジショニング)」 講師 西 由香里 先生 (WOC看護認定看護師：北出病院)	○褥瘡の発生機序からポジショニングの基本、応用など、具体的な内容で即実践できると好評であった。デモンストラクションを交えてできればもっと良かったという意見もあり、今後の参考にする。
老人看護月間行事	平成26年 11月2日 10:00～15:00	54名	一般住民 (ゆらふれ あい祭り 参加者)	・問診・身長・血圧・体脂肪・体重・骨密度測定 ・健康相談	○地域のイベントに参加することで、地域に密着した活動に繋がった。個人用記録用紙に測定値を記入、それをもとに健康相談を行うことで、様々なアドバイスができた。
第2回研修会	平成27年 1月17日 13:30～16:00	55名	会 員 非 会 員	講演「認知症サポーター養成講座」 御坊市協賛 講師 佐藤 房子 先生 カルフル・ド・ルポ印南：介護看護師長 和歌山県認知症介護指導者	○御坊市の認知症対策としての地域ケア活動に協力することができた。認知症の理解から初期症状、対応まで、今後の活動に活かせるという意見が多かった。医療機関で働く職員に対し、オレンジリングを配布することで、啓蒙・啓発に繋がった。
出前研修	平成27年 2月7日 13:30～15:30	40名	訪問看護師 施設看護師 医療従事者	講演「フィジカルアセスメントの実践編」 講師 日置 真弓 先生 救急認定看護師 和歌山県立医科大学附属病院	○事例から考える研修方法で、アセスメント能力の向上につながる内容で好評だった。
施設代表者会議	平成27年 3月12日	12名	施設代表者 及び役員	和歌山県看護協会 古川会長より報告・説明	
役 員 会	8回	8名	役 員	理事会・支部長会報告 地区支部運営に関する検討	
今後の課題	魅力ある研修会を企画し、日高地区支部の会員相互の連携強化を図り、看護の質の向上を目指すとともに会員増加に取り組む。				

## 田辺地区支部

支部長 下門 すみえ

### 活動目標

1. 会員相互の連携をはかり、地域における看護の質の向上を目指す。
2. 看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への理解を深める。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護の日事業 一日町の保健室	H26年5月17日(土) 9時～12時 JA紀南フォーマーズ マーケット 紀采柑	84名 役員 8名 中央病院 4名	役員 地域住民	看護の日のPRとともに、健康チェックを実施。血圧測定・体脂肪測定 健康相談等	参加率も高く健康相談へも気軽に参加してもらえた。 大変好評であった。
地区支部報告会	H26年7月6日(土) 12:30～ 南和歌山医療センター	役員 8名 会員 48名	役員 会員	平成25年度活動報告 平成26年度事業計画(案)	平成26年度事業内容報告・27年度事業計画ともに承認を得た。
第1回研修会	H26年7月6日(土) 12:30～ 南和歌山医療センター	役員 8名 87名	役員 会員 非会員	高齢者認知症患者のケア 講師：井上淳子氏 認知症看護認定看護師	分かりやすい講演内容で、認知症の看護の在り方を考える良い機会となった。
出前出張講座	H26年9月27日(土) 13:30～15:30 南和歌山医療センター	役員 2名 27名	役員 訪問看護 ステーション 職員	フィジカルアセスメント 呼吸の見方 ここがポイント 講師：井上潤氏 急性・重症患者看護専門看護師	呼吸状態の観察のポイントがよく理解できた。シミュレーションが効果的であった。
老人看護月間行事	H26年11月2日(月) 上富田保健センター	100名 役員 3名	地域住民	血圧測定	血圧測定の希望は多くあり測定値に対する質問がよくされた。パンフレットを効果的に活用した。
第2回研修会	H27年1月24日(土) 13:30～16:00 南和歌山医療センター	役員 5名 31名	役員 会員・非会員	高齢者の食への援助 講師：森本真衣氏 言語聴覚士	参加者はやや少ない。訪問看護ステーションの方への広報について要検討。研修内容は実践を交え、理解しやすい内容であった。
第3回研修会	H27年2月28日(土) 13:30～16:00 南和歌山医療センター	役員 6名 71名	役員 会員・非会員	田辺地区支部看護研究発表会 演題7題 講評・講演 井上 潤氏 急性・重症患者看護認定看護師	活発に意見交換ができた。 地区支部の看護職の活動内容がわかり、良い情報交換の場となった。 今後も継続して行っていく。
施設代表者会議	H27年3月19日(木) 10:30～11:30 南和歌山医療センター				
その他の役員会	H26年5月17日(土) H26年7月6日(土) H26年9月27日(土) H27年1月24日(土) H27年2月28日(土)	7名 7名 8名 5名 6名		各行事の打ち合わせ 理事会報告等	
今後の課題	地域の看護職のニーズを把握し、研修への参加率向上を図る				

## 新宮・串本地区支部

支部長 杉山 文栄

### 活動目標

会員相互の連携を深め、情報交換を図り看護の質の向上に繋げる。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	5月17日	243名 12名	地域住民 協力員	血圧・体脂肪測定、健康相談等	毎年同じ場所で行っていたが、今回、場所を変更したことで、若い人が多く、参加人数も多くなった。例年、血圧・体脂肪の値を記録用紙に記入し、1人ひとりに渡しているが、質問されることが増え、健康相談に繋げることができた、と考える。
第1回研修会	7月5日	44名	会員	講演「人材育成とマネジメント」 講師 和歌山赤十字看護専門学校 教務主任 松尾 文美 先生	看護管理に関する研修の希望が多く、今年度実施することができた。講師の実体験を踏まえた講義は解りやすく、参加者から「元気をもらった」「悩みが解消された」などの意見があった。管理者が多く参加しており、希望に応えられる研修内容であったと考えられる。
第2回研修会	10月25日	44名	会員	講演「看護師だからできる認知症ケア」 講師 畿央大学健康科学部看護医療学科 教授 山崎 尚美 先生	認知症患者が増えている現状を踏まえて、看護師だからこそできる看護は何か、を理解できる講義であった。「BPSDは看護の質が良ければ必ず改善されます」という講師の言葉がとても印象的であった。参加者からも「明日からの看護に役立てたい」と大変好評であった。

事業名	開催日	参加者数	対象者	事業内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
老人看護月間行事	11月2日	152名 8名	地域住民 協力員	血圧・体脂肪測定、健康相談等	太地町の「太地浦くじら祭」に参加。一人ひとりに血圧・体脂肪の値を記入した用紙を渡して、様々なアドバイスをを行った。
支部役員会	6月16日 11月20日	6名	支部役員	・今年度の研修計画 ・各行事の打合せ ・研修・行事終了後の振り返り ・理事会報告等	
地区支部 施設代表者会議	2月20日	9名	施設代表者	日本看護協会の動向・平成27年度重点事業・事業計画について・看護研修センター建築について	
今後の課題	会員数の増加。施設間の情報共有の強化。				

## 平成27年度和歌山県看護協会役員・推薦委員候補者一覧

役職名	氏名	所属	備考
副会長	東直子	白浜はまゆう病院	推薦委員会推薦
専務理事	小泉美穂	和歌山県看護協会	推薦委員会推薦
理事（書記長）	山本美代	自宅	推薦委員会推薦
理事（保健師職能委員長）	櫻根桂子	自宅	推薦委員会推薦
理事（助産師職能委員長）	坂本裕美子	紀南病院	推薦委員会推薦
理事（看護師職能委員長Ⅰ）	澤田康幸	済生会和歌山病院	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 和歌山地区	松尾文美	日本赤十字社和歌山医療センター	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 海南・海草地区	清水多津子	野上厚生病院	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 田辺地区	松元由美	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 新宮・串本地区	佃瑞穂	くしもと病院	推薦委員会推薦
監事	澤越純子	自宅	推薦委員会推薦
推薦委員	石井美保	海南保健所	推薦委員会推薦
推薦委員	露詰公子	田辺市役所	推薦委員会推薦
推薦委員	上田由美	橋本市民病院	推薦委員会推薦
推薦委員	小山美代	くしもと町立病院	推薦委員会推薦
推薦委員	大久保雅世	野上厚生病院	推薦委員会推薦
推薦委員	山家久登美	和歌浦中央病院	推薦委員会推薦

## 平成 28 年度 代議員推薦者名簿

	氏 名	職能・地区名	施 設 名
1	坂 本 裕美子	助産師職能	紀南病院
2	山 本 美 代	保健師職能理事	自宅
3	玉 置 佳 代	准看護師	北出病院
4	藤 本 美 幸	那賀地区（看護師）	公立那賀病院
5	前 田 悦 子	和歌山地区（看護師）	和歌山労災病院
6	中 嶋 靖 子	日高地区（看護師）	独立行政法人 和歌山病院

## 平成 28 年度 予備代議員推薦者名簿

	氏 名	職能・地区名	施 設 名
1	吉 村 友 美	助産師職能	医大病院
2	櫻 根 桂 子	保健師職能理事	自宅
3	森 岡 有 子	准看護師	有田済生会病院
4	丸 山 美智子	那賀地区（看護師）	つくし医療センター
5	柳 美 紀	和歌山地区（看護師）	琴の浦リハビリテーション
6	坂 田 尚 子	日高地区（看護師）	独立行政法人和歌山病院



心地よい眠りで、あなたの元気を応援します。

## 東洋羽毛のゴア® 羽毛ふとん

汚れのもとになるものは、ふとんの中に入りません。

寝ているときの汗は、こもりません。

まるでふとんが、呼吸をするように

いつも衛生的で、心地よい温かさを保ちます。

温かいを超えた、至福の寝心地を、

是非お試しください。



**TUK**  
東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所  
〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F  
☎ 0120-32-7766  
ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>

清潔・きれい・衛生  
**Bedding Products**